

効能・効果, 用法・用量の追加及び使用上の注意改訂のお知らせ

尿失禁・頻尿治療剤

処方せん医薬品

ウロナベリン錠 10

処方せん医薬品

ウロナベリン錠 20

プロピペリン塩酸塩錠

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社

富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、標記製品につきまして、平成 22 年 3 月 24 日付で効能・効果及び用法・用量が追加になりました。それに伴い、下記のとおり、効能・効果、用法・用量及び使用上の注意を変更致しますので、お知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

敬白

記

新旧対照表() : 変更箇所

	改 訂 後	現 行
効能・効果	<ul style="list-style-type: none">下記疾患又は状態における頻尿, 尿失禁 神経因性膀胱, 神経性頻尿, 不安定膀胱, 膀胱刺激状態 (慢性膀胱炎, 慢性前立腺炎)過活動膀胱における尿意切迫感, 頻尿及び 切迫性尿失禁 <p><効能・効果に関連する使用上の注意></p> <ol style="list-style-type: none">本剤を適用する際, 十分な問診により 臨床症状を確認するとともに, 類似の 症状を呈する疾患 (尿路感染症, 尿路 結石, 膀胱癌や前立腺癌等の下部尿路 における新生物等) があることに留意 し, 尿検査等により除外診断を実施す ること。なお, 必要に応じて専門的な 検査も考慮すること。下部尿路閉塞疾患 (前立腺肥大症等) を合併している患者では, それに対す る治療を優先させること。	<ul style="list-style-type: none">下記疾患又は状態における頻尿, 尿失禁 神経因性膀胱, 神経性頻尿, 不安定膀胱, 膀胱刺激状態 (慢性膀胱炎, 慢性前立腺 炎) <p>← 記載なし</p> <p>← 記載なし</p>

	改訂後	現行
用法・用量	<p>通常，成人にはプロピペリン塩酸塩として20mgを1日1回食後経口投与する。 年齢，症状により適宜増減するが，<u>効果不十分の場合は，20mgを1日2回まで増量できる。</u></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><用法・用量に関連する使用上の注意> <u>20mgを1日1回投与で効果不十分であり，かつ安全性に問題がない場合に増量を検討すること。</u></p> </div>	<p>通常，成人にはプロピペリン塩酸塩として20mgを1日1回食後経口投与する。 なお，年齢，症状により適宜増減するが，1日最高投与量は40mgまでとする。</p> <p>← 記載なし</p>